

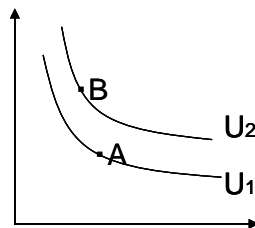
『都市の経済学 小テスト No. 3』

以下の各問に答えよ。ただし、解答はマークシート方式となっている。

※□で囲まれた数字は解答番号を示す。○で囲まれた数字は選択肢番号を示す。

問 1. 無差別曲線について

- 1.1. 無差別曲線とは、ある個人の□1 (①外部性、②満足度、③公共性、④比較優位) を表す。
- 1.2. 同一の個人の異なる無差別曲線上にある消費の組み合わせは、□1が□2 (①異なる、②等しい、③どちらとも言えない)。
- 1.3. 異なる個人の無差別曲線が交わることは□3 (①ある、②ない、③その他)。
- 1.4. 図はある個人の2つの無差別曲線を表している。この個人の□1が小さいのは□4 (①U₁である、②U₂である、③U₁とU₂で同じ効用水準である、④その他)。



- 1.5. 同一の無差別曲線上にあるとは、一方の財の消費を増加させるとき、他方の財の消費を□5 (①減少させる、②増加させる、③変化させない、④その他) ことで等しい□1を実現していることを表している。
- 1.6. レジюме 2 では、広い住宅を消費する (= 居住する) ことを重視しているのは□6 (①A 君、②B 君) である。なぜなら、□6 は合成財の消費を増加するときに、諦める住宅の広さが□7 (①小さい、②大きい、③等しい) からである。

問 2. 予算制約線について

- 2.1. ある人の所得が 300 円、財 α が 20 円/個、財 β が 10 円/個であるとする。この時、この人の予算制約線はどうなるか正しいものを選んで□8 に解答しなさい。
(① $\alpha = 30 - 2\beta$ 、② $\beta = 30 - 2\alpha$ 、③ $\alpha = 30 + 2\beta$ 、④ $\beta = 30 + 2\alpha$)
- 2.2. 上記の予算制約線を図に書いたとき、縦軸・横軸との交点はそれぞれどうなるか。横軸を α の数量、縦軸を β の数量として以下の選択肢から選びなさい。ただし、 (α, β) として表記する。
横軸の交点□9 (① (15, 0)、② (30, 0)、③ (0, 15)、④ (0, 30)、⑤その他)
縦軸の交点□10 (① (15, 0)、② (30, 0)、③ (0, 15)、④ (0, 30)、⑤その他)
- 2.3. 予算制約線よりも上にある消費の組合せは、購入することが□11 (①可能、②一部可能、③不可能、④その他) である。